

**民主**  
PRESS MINSHU

号外 静岡3区版

2010年3月10日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

明日の日本  
生活が第一



～ 期待を実績に！ ～

衆議院議員

民主党静岡県第3区総支

小山のぶひろ

氏に訊く

通常国会レポート 『財務金融委員会』『予算委員会』で質問

「財務金融委員会」「予算委員会」にて質問

二月十九日の財務金融委員会では、昨年の臨時国会で可決された「中小企業金融円滑化法案」の効果並びに金融検査マニュアルの改訂について、東京都議会から要請をうけた「新銀行東京」問題等について質問。ここでは、私の農林中央金庫職員としての経験を踏まえ、地域金融機関・JAバンク・JFマリンバンクが、断腸の思いで店舗の統廃合を行いながら、体制整備を進めてきたこと、「お客様とともに歩む・成長する」という日本金融が持っていたモラル・情熱を再評価すべきである、という主張も混ぜつつ質問。これに対して大塚副大臣より、中小企業金融円滑化法案については、現在までに大手都銀に一万五千件の条件変更の申込みがあり、三千百件あまりの実行がなされ、一万二千件あまりが審査・協議中との答弁を得た。

二月二十五日には予算委員会にて質問。ここでは、とりわけ茶業振興と茶価対策、戸別所得補償制度について質問。戸別所得補償制度は、本来、食糧安全保障を確保するとともに、農業の多面的な機能を評価し、大規模の農家さんだけではなく、中小規模の農家、兼業農家も日本農業の担い手として評価するとともに、都市と農村の格差是正・中産間地域の活性化をも視野に入れた制度です。この制度の趣旨を踏まえれば、価格下落が続くお茶や、レタス・イチゴ、メロン等は制度の対象とすべきと質問。これに対して郡司副大臣から、茶業振興・茶価対策については、生産者と茶商工業者によ

る新たな商品開発や需要拡大の取り組みを支援する「国産原材料サプライチェーン構築事業」等を平成二十二年予算に計上したこと、戸別所得補償制度にお茶やレタス・イチゴ・メロン等を加えることについては、農家個々を支援する政策を検討する必要性について言及した上で、当面、所得保障制度の基礎となるデータの収集を行いつつ、価格安定対策事業を継続していくとの答弁を得た。

「租税特別措置透明化法案」が衆議院を通過

「租税特別措置」とは、ほとんどが、特定の分野に対して事実上の減税を行うものであり、別名「税制優遇措置」と呼ばれている。特定の人達だけが恩恵を受けることから、補助金と同じ性質がある。この「租税特別措置」は、複雑なものでもあり、その実態、政策の効果について、主管官庁でさえも十分に把握していないケースもあった。民主党政権は、まず、今までの租税特別措置を全面的に見直し、既に目的を達成したものと等について撤廃し五千九百億円あまりの実質的な増収増を行った。また、現行の「租税特別措置」についても、その政策効果・状況について、官庁・内閣7878から国会への報告を義務付ける「租税特別措置透明化法案」を作成し、野党のからも理解を得、全会一致で財務金融委員会並びに衆議院を通過。前政権のもとでは達成できなかった「透明化」と効果のない減税措置を撤廃するという「無駄の排除」を行うことも民主党政権の使命と考える。

衆議院議員

小山 展弘



号外 静岡3区版

2010年3月10日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

# 明日の日本 生活が第一

## 衆院本会議 高校実質無償化法案



### 画期的な制度改革

2月25日の衆院本会議で、川端達夫文部科学大臣が行った高校実質無償化法案の趣旨説明に対し、民主党・無所属クラブを代表して、江端貴子議員が質問しました。

江端議員はまず、施政方針の「未来を担う子どもたちが自らの無限の可能性を自由に追求していける社会」の実現こそが今の日本で何よりも求められていると指摘。この法案は、社会全体で子どもたちの「学び」を支える「画期的な制度改革」を目指すものであり、その円滑な実施には、国民の理解と協力が不可欠だとして、改めて高校無償化を実施する趣旨・意義を質問しました。

川端大臣は、家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して教育をうけられる社会をつくるため、公立高校の授業料を無償化するものであると答弁しました。

### 小山 のぶひろ

プロフィール

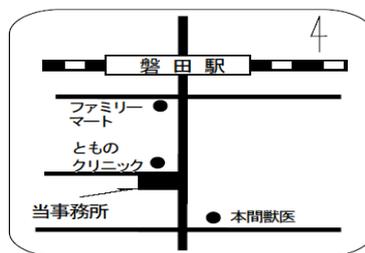
- 1975年 12月26日 掛川市(旧小笠郡 大須賀町)生まれ
- 1982年 大須賀町立横須賀幼稚園 卒業
- 1988年 磐田市立磐田西小学校 卒業
- 1991年 磐田市立第一中学校 卒業(水泳部所属)
- 1994年 磐田市立磐田南高等学校 卒業(弓道部所属)
- 1999年 早稲田大学 政治経済学部政治経済学科 卒業
- 2001年 早稲田大学大学院 政治学研修科修士課程 修了  
農林中央金庫(JAバンク)入庫
- 2006年 農林中央金庫を退職し松下政経塾に入塾  
日本公共政策学会 入会(現在、日本公共政策学会員)
- 2007年 民主党静岡県第3区総支部長 就任(松下政経塾を自主退塾)  
第45回衆議院議員選挙にて初当選
- 2009年 衆議院議員(財務金融委員会・災害対策特別委員会に所属)  
磐田市中泉(西新町)在住



衆議院議員 小山のぶひろ

### 民主党静岡県第3区総支部事務所

438-0078 磐田市中泉(御殿)656-1  
 TEL 0538-39-1234  
 FAX 0538-39-1235  
 E-mail n\_koyama@aroma.ocn.ne.jp



※駅南口より徒歩3分

※ お気軽にご連絡・ご来所ください(磐田駅南口より徒歩3分)。